

東日本太平洋沖地震で被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

また、被災地に向け、全国から温かい応援、励ましのメッセージをいただいております。全国からのメッセージは、震災による痛みや悲しみ、余震による怖さや不安が続く私たちにとって、大きな励みになっております。あらためて感謝と御礼を申し上げます。

本校は、仙台市宮城野区の沿岸部からやや離れた場所に位置しています。宮城野区、若林区の沿岸地域は、巨大地震とその後発生した津波によって、甚大な被害に見舞われました。津波は本校の学区までは到達せず、上下水道の破損や通路のひび割れ等がみられたものの、校舎や体育館に大きな被害はありませんでした。しかし、仙台市内の小中学校では、校舎や体育館の破損が大きく、始業式や入学式、授業や部活動が計画通り実施できない学校が何校かあるのが現状です。

本校では、震災から1ヶ月が経過した4月11日（月）に、始業式を行うことができました。始業式では、進級した代表生徒が抱負を発表しました。生徒は、自分なりに「今」ととらえ、震災を乗り越え、前進しようとしております。代表生徒の抱負が、全国から寄せられた数多くの応援メッセージに対する御礼と、大きな被害に見舞われた地域の生徒の皆さんへの励ましとなればと考え、ご紹介いたします。

平成23年4月

仙台市立田子中学校 校長 佐藤 邦宏

2年生の抱負

I・N

私の2年生での目標は、学習面と部活動を両立させることです。

学習面での目標は、継続的に勉強に取り組むことです。私はテストがないときには全くというほど勉強をしないので、テストの2週間前ぐらいになってあわてて勉強する、そしてテストが終わるとまた勉強しなくなる、とうことを繰り返してきました。また、いざ勉強しようとしてもなかなか集中できず、結局やらないということもありました。そのため、テストが終わって後悔することが何度もありました。これらの反省を踏まえて、2年生では継続的に集中して勉強に取り組むということを目指して頑張っていきたいです。

次に部活です。部活動での目標は、自主練習に積極的に取り組むことです。1年生が入学してきたら、私にも後輩ができるので、自主練習をして先輩として恥ずかしくないように、そして後輩のお手本となるように頑張りたいです。

3月に大震災が起り、私たちの生活は変わってしまいました。学校が休みになり、部活動もなくなり、余震で不安な日々を送り、体力的にも精神的にも疲れてしまいました。しかし、日が経つにつれ友だちの元気な様子を耳にしたり見ることができ、ライフラインも直ってきて、だんだん元気になってきました。先日、また大きな余震があり、不安が募りますが、新学期が始まるということで、負けないでより元気に明るく過ごしていきたいと思います。

3年生の抱負

A・I

東北、関東大震災で大きな被害を受けた中、今こうして始業式ができるということをととても嬉しく思います。

この震災で、なくしたものはとても大きかったけれど、学び得たものも大きかったのではないかと私は思います。

この震災で学び得たものと、2年生の反省を生かして、私は3つの目標を立てました。

1つ目の目標はいつもなら当たり前のことにもしっかりと感謝するということです。震災の時の電気がつかない不安な生活を経験して、普段当たり前のようについている電気や当たり前のように食べている食料、当たり前のようにお風呂に入れることがすごくありがたいことなんだと気付くことができました。今年度はいつも電気がついて明るい夜に、温かいご飯が食べられるということに、普通の生活ができるということに、感謝の気持ちを忘れないよう過ごしていこうと思います。

2つ目の目標は、時間を大切にすることです。2年生の時はだらけてしまう時間が少しあり、時間を無駄にしていました。3年生ではだらける時間を無くし、やらなければならないことを早めにやって時間を有効に使えるようになろうと思います。

3つ目の目標は、今年受験生なんだという自覚を持ち、勉強時間を少しでも増やしていくことです。受験では1年生、2年生での勉強も重要になります。復習をしながら3年生の勉強をしなければなりません。今までの勉強時間では足りないと思いました。

少しでも1日の勉強時間を増やせば受験の時には大きな力になると思います。これから日々の積み重ねを大切にしていきたいです。